

林業について

林業改良指導員
山下郁男

「七月ノ夏手入月間に入ります。鹿児島県で山林手入れの始まる月です、雑竹林の刈払の最中であり、又今年秋か来年春の造り計画を專に提出する月でもあり内のご比して木材価格は高

に畑に大多忙の時期であると同じく、業者の方々が集中して、経済的に恵まれていると或いわ云える云うか重大な月であります。が

さらに文昭初三年度から新農
村建設計画に編入され、大きく
躍する第一歩の月でもありま
す。新雫村建設の大きな目標で
ある竹井山地区の改修を昨年
に倍し進めようではありません
か。

このことについてよく考えて見
ますと、その土地には同じ品物が
他には比してたくさんあり、又品質
が良いと云うことが、名産とか特
産とか云われる原因であります。

その土地のたくさんの人々が同
じ品物をより多く栽培し生産して

雑竹林の刈り、改植は昨年約六町歩が実施されました。内山の山を昇視したとき、いわゆつ雑竹林らしい山は、一目でそれと判るようになりました。これははいし雑竹林が刈り払われ、改植したために、現在残っている

しかも品質がよく揃ひ優秀であることであつて、極く優秀なものが多いとれるからと云つて、産地として有名なにはならぬことです。

例へば本村が林業関係で有名なのは、山が多いと云うことであり又しゆるの産地として文家藩その

竹山が目立てきたからと思わ
れます。郷土の山が余すところな
ぞ林が、整理されてきつた
ことは見た目にも気持ちよく又
自他とも思う存分の生長が出来る
ものになって、ほんとの意味の理
解へ近づいていくのです。

他の産地として県内有名なもの
たくさんシユロが植えられ、植
えられつゝあること、家畜その他
の生庫が多いと云うことに他なら
ないのです。

あたりの話ですが、
私共はよくこのことを忘れ勝ちで

子供を叱ることに ついて

「叱らないで、子供を躾けるにはどうした
らよいか」

私共が毎日 新聞やラジオで見 あります、ひとりよがりになり勝

子供を叱つた後に、必ず考えさへ合でも、子供達は反抗的になり悪くすると、自殺、家出、不良化に追いやる結果になりそうである。

子供を叱る時にも、怒りをおさえる時のように一から十まで数えてから叱るべきは叱り懲らすべきは子供自ら反省してくれたら何の

に何んか、勝手なことをしては居るから良い気なものだ、等と思うような年配になつた子供には、叱とは缺のないことなのである、叱られども実はその年頃の子供に叱咤は必要に思われる、しかし

子供を叱る上によく考えて見ると、叱らなければならぬ時は、そろそろにならないのである………と云つて放任して置いても良いと云

體型し、その前屈なる信念こそ
子供を立派に育てる要因のように
思われよ。

親の無関心と云うことと叱らないと云うことは同じではない、子供はたまた見逃せないような事を

田代村有肉豚貸付が

始められました

確によつて農家經濟を再建しなければならぬという事は現在農に於ける決定の事實であると同じにその最も手近かなものが豚であると思われず。

加えまして掲載しましたので村民の皆さん方には遠慮なく申込み下さい。

田代村有肉豚貸付條例

第一条 村は豚の改良増殖を奨励し經濟自立の促進並に村民に対する營農改善の一助として毎年予算

したがが少々、其の緒に乗つたよう
の感が致します。

農家の経済自立の促進と村民
の福利に於いて肉豚の貸付を行
う第二、村有豚の貸付を希望する
者は左記条件を具備しなければ
ならない。

- 飼養管理に熱心なる者
- 豚舎を有する者
- 村内に移住する村民

貸付を行う事になりました。

村議会に議決を得ました。村有肉

貸付金を受けようとするとき、父親が中学三年生の娘に夜遊半泊を命じたところ、無断家を出て、福岡県折尾まで行き、旅費を使い果して困つていたところを保護されて実家に連絡して旅費を返したところ、この場合がある、このようなとき「兄連は人として尊ばるべきではない」「兄連は人として尊ばれるべきではない」といふことが、兄弟の人格を認めたことになる。これは児童憲章の第一条にある「兄弟の人格を認め、その権利義務を保障する」の趣意である。

第三条 貸付を受けること

叱るということは非常にむづかしい。親は子供を叱らねばならないこともある、叱らずに育つた子供は、世の惡も喰ふことが出来ず、高な言葉でこの言葉を悪い出したなら、世の惡も少なくなるのではないでしようか。

知り合つた男にだまされて自宅には歸らずに川内までやつて来て、さんざんも遊ばされたあげく、商店に売られて売淫を強いられて居た。

二、十九才のA少年は父母の不仲

供の方向けに方法を論じている。多分が人間の本質に触れて親愛愛を感じていてであらう。叱られても尚愛愛を感じる様子を「冒険に書いた」方をして、子供を養育するには「したらいかな」結論は叱ること等があるが叱られた少年は如何に

心理的に打けきが大いことと反
射的に軽率な行動に出ることをよ
く物語っている。

田代巡査駐在所

その二つのものであります。一口に云つてしまふは、現在の生長量だけの木を伐つて収益を挙げると云ふ者の考え方から、現在の山よりもつと生長の早い木を殖林しかえて、たくさん使ひの多い木を早く生産し収益をあげる、と同時に世のためにより多く立てよう、といわゆる経済的な考え方に変つてきたのです。県内では、木材加工会社があり、木材が、木材加工会社から出てくることと見て、木業のあり方が變つてきつゝあり共々安閑としておられない緊張感にいます。

成と云ふことが考えられて実施に移されようとしています。

この考え方は、早く太くなり使ひの多い木を、肥沃な屋敷内、に植えて、常に肥料を与えて、生長量をより増すことが可能である、と云ふこと、個々の屋敷を数多く集めると実に莫大な面積になり従つて想像以上の木材を生産し得ると云ふ考え方あります。

その事例とも云えることですが、県内では、屋敷の周囲に六十本、位のスギの木を植えて、毎年一本宛、不時の支出やタバコ銭に採算しておられると聞いています。屋

この対策の一つに、屋敷林の造敷が広いこともありますが、一本

第一号様式により貸付申請書
村長に提出しなければならぬ
四 村長は前条により借受者
第二条に該当否かを調査の上
付を行う。

五 貸付決定を受けたる時は
二 三 号様式により保証人一名連署
契約書を入れるものとし授受
は村長の指定する期日乃場所
にて行う。

六 貸付に於いては貸付と同
様式第三号

田代村長 殿 借受書 一、肉豚 頭 右正に借受けましたので肉豚貸付 条例を良く守ります。 年 月 日	住所 氏 名 御
---	----------------

に貸付費の一割五分を貸付補償として納入するものとしこれを返さない。

八条 貸付金の借受中の飼養処分及返納その他一切の費用は借受の負担とする。

故郷又は怠慢により貸付能力又は面格を減損し若しくは

夏枯れの現金はまず養蚕から春蚕は去る六月十日を以て無事終り、其の成績は四月二十六日に

夏秋期養蚕

借受者住所氏名
一、村有貸付豚頭
一、購買価格
一、種類
一、性

失せしや窓難死に至らした時
その損害を処理者に弁償させる
十条 左の各項の一に該当する
、村に於いて必要と認めるとき
、この規定を守らないとき
、飼養管理が適当でないとき
条例は昭和三十三年六月一日よ
式第一号 貸付申請書

五〇局の雛児を掃立て五月三
日に配査す 五月二十七、八日
上敷し、六月四日、七日、十日
に觀販売を行い、此の間五月中旬
頃までは悪天候で、これ以後は天
候に恵まれたが、しかし昨年の
台風災害と三、四月の旱魃により
琴の発芽発育が悪く過大の桑不足
をきたしたが養蚕事業の不断から
なみな努力により予想以上の
觀販売が出来た事を深く感謝する
次第であります。

観販売実績は上讃四六二貫余り
繰生産量は四九二貫余りで前年度金

以脂 重
村有肉豚貸付条例により貸付け
戴きたく此処に申請いたします
年月日
又個人最高は猪ヶ倉部落の山元
ミエさん、んは桑園一反歩で総購販

本は六十年生のスギになつたといふ伐られるわけです。六十年生のスギと云ふは普通でも銘木にも木でありますが、屋敷の肥料分として、手入れが充分行き届き、大きく優秀なもので、従つて本十数万円の木である云うことです。

それは屋敷木を有効に生かしたやり方ではないかと思ひます。

本村にも屋敷木は多いのですが来るなら、防風林を兼ね、風倒を兼ね、しかも金になる屋敷木を作る方法はないものでしょうか。

8. 三・六・三三

- 日に開催されます。
- 貸付が決定した場合はセリ市当日一割五分の保証金と市場手数料並に借受者及保証人の印鑑を必ず持参して、仔豚を借受け下さい。
- 借受けに要する一切の書類は営農相談所に準備してあります。なお御不審の点等もあるかと存じますので遠慮なく御申出下さい。
- 村内に居住する村民であれば、またでも借られますので、ぜひ申し込んで下さい。
- 後さきになりますが、一割五分

の保証金はいかなる場合といふ
ども御返し致しません。

7、若し病氣等で死亡した場合
はこの一割五分の保証金で打切り
ということになります。従つて
購買当時の元金は返納されなく
ても良いということになります

8、貸付けた豚が順調に發育して
共同出荷により販売された場合
は貸付時の元金を返納していたた
けます。従つて残金は本人の
収入となります。

9、花子の場合には保証人並に小

の保証金といふことになり、
のとおりに貸受けたので田代
有貸付条例を良く守り飼養管理
適正に努め本村畜産振興に貢献
します。

年 月 日

借受人 住 所氏 名
保証人 住 所氏 名
代村長 殿

の ついて

量は一九貫余りで前渡金が二万
千円程度を得られました。
菓少ではあります。五、六月

、貸付けを希望される方々は仔
豚セリ市の五日前迄に貸付申請
書に印鑑捺印の上営農相談所に
提出して下さい。

、仔豚セリ市は毎月五日と二十

はれている防災営農から言つても
初秋蚕を飼育するが又、養蚕経営
から見ても是非必要であるこの事
から押して、初秋蚕には春の半分
以上の桑が収穫出来る様に伸長さ
せなくてはならない。

今、桑は肥培充分な物では一日
一寸位伸びる時期であるから一刻

組、組合に協力を依頼し、い
9 刈り長めの証明書を村長宛に提出
して下さい。

以上で解説を終わりますが村民皆様
方の御協力を御願ひ申し上げます。

の夏耕後の現金収入の少い時期に於ては農業経営に大きなプラスと考へられます。

又、收購量（買数は多い故に）検査成績（単価に關係ある）も非常な好成績（六月四日販売の糸量は一八三、七で蕪格が三等で掛目が昨年春畚と同掛位であつたとすれども）は甚だ七百廿四匁に成る予であり、また、反当收入をあげたには次の様な事が必要になつてゐます。

蕪は桑から 桑は土と肥料から 今桑にとつては一番稼ぎ時でその間に養蚕と云ふ事は三重的に早く管理に努めて下さい。

しかし養蚕と云ふ事は三重的關係から飼育時期次に力を入れ、桑園管理は一般作と勝ち合う關係から粗に成り易くそれで過期肥培管理が不充分で飼育時期又、反当收購量が上らないと後悔する事が多々ある。それで今年に限つては此のやう事無き様努めて下さい。

夏期桑園手入れ週間（第二回目）を七月一日から七日迄実施致しますから、手未完了桑園はこの週週中は手完了された。

（中略）

肥田管理については述べました。今今の發育伸長により、遂着まで收穫量を決定し、又初秋蚕は一肥田管理は適期管理から施肥の時期は今迄の事で御分りなす。余り飼育が始まります。反当收穫を上げるにも、最近叫の通りですがもう少し述べますと

は永年作物、肥料の吸収は遅く適期に收穫量に影響しないので肥効を失ふし易く、時期を失する害発育は悪く又、重要な事は生育の初期に於いても肥料の吸収が遅く行なわれ条が充実せず寒害に起因する原因ともなるから早目に施して弱く、今春の様に條の先枯れて行く事がある。

多収の様な永年作物は普通作物に比べ施肥を行つた効果が年内又、次の年に影響しないので普通作物の様に施肥量を患ひ切つて増加させないで、必要に応じて追肥を施すことがよい。

細菌病は夏から秋にかけて葉に褐色の斑点を生じ、病状が進むにつれて縮めて来、落葉する事もあられる。又、秋から冬にかけて枝先に薄黒いスミをこぼした様な斑点が生じ、春先に成つて、病気に侵されたり腐つて芽が出なくなります。

最近農園に細菌病の発生が著しく飼育時期に成つて、葉不足を生ずる事が非常に多く、それで今の時期に予防するが最も効果が大きいです。

土壌管理が無駄にならない様に、肥料の吸収が遅く、時期を失する害を発育の初期に於いても肥料の吸収が遅く行なわれ、条が充実せず、寒害に起因する原因ともなるから、早目に施して弱く、今春の様に、条の先枯れて行く事がある。

多収の様な永年作物は普通作物に比べて、施肥を行つた効果が年内、又、次の年に影響しないので、普通作物の様に、施肥量を患ひ切つて増加させるのではなく、必要に応じて追肥を施すことがよい。

細菌病は夏から秋にかけて、葉に褐色の斑点を生じ、病状が進むにつれて、縮めて来、落葉する事もあられる。又、秋から冬にかけて、枝先に薄黒いスミをこぼした様な斑点が生じ、春先に成つて、病気に侵されたり腐つて、芽が出なくなります。

る事が一般的に少い、此の様な
えで桑園に施肥していると同年
ついても多收穫桑園を仕立てる事は
来ない。

それで今年こそは施肥基準量の
貫入り）は施肥する様に、新植
園には八貫ないし十貫位が適
で又、株直當時施肥を行った桑
でも、今述べた量にみたらな
して下さい。

桑園には是非手入週間中に基準通り
して下さい。

（一斗）以下は日本農林省

今春の授桑の上部の不発芽は、
の両気の為、発芽しなかつたので
ある。

予防治は水一斗に水銀ボルドー
一〇匁又はウスフルン一五匁を溶
かして桑全体に反当三斗位撒布す
る。

災害は桑で守りましょう
防災用で昨年に栽植されている
桑は一般に手が粗になり勝ちです
桑の授木の投目を果さぬ内に枯死
するものが多くありますから、こ
れ機会に桑株の周りの雑草を刈り
そこに敷く様に努めて下さい。

生肥質の俵には無臭肥料の角消
今、この桑園も一畦隔に夏作の
刈大豆が植付けられている、こ
青刈大豆を植付てない畦の真中
と株際近くの両側に深さ五
寸の施肥溝を掘り、こゝに施肥
ます。

今迄の配合肥料と同様に施肥す
と効めが少い、固形肥料は他の
肥料と違い、肥料のかたまりを細
かく包根なくては肥料の吸収力
が劣るから肥料は細い根近くに五
寸の深さに施したが良い。

夏作緑肥の鉄込について
七月中旬には緑肥の鉄込時期
に成ります。

鉄込時期は青刈大豆が一圃程度厚
開花した時分に引抜き、半乾きに
して植付てあつた畦に消石灰を反
当二〇〇貫位加用（撒布）し鉄込
むが良い。

災害は忘れずに来る
反当収量の増加は初秋寒から
春寒は収量減（貫数）は多く又又
膜圃も最近に無い価格が予想され
それで来たる夏秋査には春以上の
実績を確保したい。

九月頃は台風シーズンと申し
今、豊後県は今年の第一台風が

肥料を施したならば従来は土用布と申しまして畦間の土を株もとに寄せ、畦間は低くなり、株元がで覆われるのであります、畦間は土を極端に行います、畦間はく掘られ、細根が無理に切られる度、早懸にあつた時と同様に生が止り、枝先の若い葉がしおれどく成ると葉は褐色に変わり、なる事さへある、この事から考て肥料を施したならば畦間の土に株元へ少し寄せる程度で良い、此の作業が終つたら畦間一面に土を寄せ、

1、災害（台風）を避ける事が出来る。
2、反当收穫量を上げる事が出来る。
3、晩秋蒔の蒔が良く成る。
4、飼育期間が短かい。
5、生産費が少なくて良い。
6、夏休みの子供が加勢出来る。

以上の事から考へ初秋蒔は七期蒔よりも、

を敷きますと、今からの雑草繁殖が抑制され又、菜園の有機物増によりも先決です。

七、八月頃の早割対策に成り

畜産技術員 藤崎重昭

夏秋期の 養蚕について

枯れの現金はまず養蚕から
養蚕は去る六月十日を以て無事
〇、其の成績は四月二十六日に
〇、瓦の垂兒を掃立て五月三
に配蚕し、五月二十七日、八日
に販賣を行い、此の間五月中旬
では懸天候で、これ以後は天
恵ぐまれたが、しかし昨年の
災害と三、四月の早鰯により
芽牙養蚕が悪く過大の桑不足
としたが養蚕家の不漸からの
ならぬ努力により予想以上の
売が出来た事を深く感謝する
が出来ます。

販売実績は上騰四六二貫余り
産量は四九二貫余りで前渡金
拾八万円で養蚕家一戸当平均
五百円であります。

個人最高は猪ヶ倉部落の山元
さんは桑園一反歩で総額販

売量は一九貫余りで前渡金
参千四程度を得られました
僅少ではありますが、五
頃の夏枯れの現金収入の少
に於いては農業経営に大き
く考えられて

又收購量、貫数は多いが
定成額(単価に關係ある)に
に於く六月四日販売の糸量
短三七で職務が三等で掛目
の養蚕と同位位であつたが
は単価は若干七百四程度に
定でありますから反当収入
には次の様な事が必要に
参ります。

繭は桑から 桑は土肥田肥
今桑にとつては一番難い
れが今の養育伸長により選
の收購量を決定し、又初秋
月余りで飼育が始まります
反当收購を上げるにも、

日に開帳します。

3、貸付が決定した場合はセリ市当日、割五分の保証金と市場手数料並に借受者及保証人の印鑑を必ず持参して、仔豚を借受けて下さい。

4、借受けに要する一切の書類は営業相談所に準備してあります。なお御不審の点等もあるかと存じますので速誠なく御申出下さい。

5、村内に居住する村民であればどなたでも借られますのでしどし申込んで下さい。

6、後さきになりますが、割五分の保証金はいかなる場合といえども御返し致しません。

7、若し病氣等で死亡した場合はこの割五分の保証金で打ち切りということになります。従つて購買當時の元金は返納されなくても良いということになります。貸付けた豚が順調に發育して共同出荷により販売された場合は貸付時の元金を返納していただきます。従つて残金は本人の収入となります。

9、死亡した場合は保証人並に小組合長の証明書を村長宛に提出して下さい。

以上で解説を終わりますが村民書牒方の御協力をお願い申し上げます。

ばれている防災営業から言つても初秋蚕を飼育するが又、養蚕経営から見ても是非必要であるこのことから押して、初秋蚕には蚕の半分以上の桑が收穫出来る様に伸ばせなくてはならない。

今、桑は肥培充分な物では一日一寸位伸びる時期であるから一週も早く管理に努めて下さい。

しかし養蚕と云う仕事は二重の關係から飼育時期又、に力を入れ、養蚕管理は一般作と勝ち合の關係から粗に成り易くそれで適期肥培が管理に不十分で飼育時期又、反当收穫量が上らないと後悔する事が多々ある。それで今年に限つてはこう言ふ事無き様努めて下さい。

夏期桑園手入れ週間(第二回目)を七月一日から七日迄実施致します。また、手入れ完了桑園はこの週間は是非完了して下さい。

肥培管理について述べますと、肥培管理は適期管理から、施肥の時期は今迄の事で御分りの通りですがもう少し述べますと、

桑は永年作物、肥料の吸収は連年直ぐに收穫量に影響を及ぼすので肥培適期を失し易く、時期を違へると發育は悪くなり、重要な事は養蚕の作柄に影響し、桑に於いては肥料の吸収が遅くまで行なわれ条が表裏せず被害に對して弱く、今春の様に条の先枯れが起る原因ともなるから早目に施肥する事が良い。

多收穫桑園は肥料の増施から桑の様な永年作物は普通作物に比べ、施肥を行った効果が年内又、直ぐ量に影響を及ぼすので普通作物の様に施肥量も意切つて増加する事が一般的であり、此の様な考えで桑園に施肥していると同年経つても多收穫桑園を仕立てる事は出来ない。

それで今年こそは施肥基準量の三袋ないし四袋、桑園形肥料袋八貫入り)は施肥する様に、新植桑園には八貫ないし十貫位が適当で又、株直當時施肥を行った桑園でも、今述べた量にみたない桑園は是非手入れ週間に基準通り施して下さい。

生産費の低下は無駄肥料の解消から、

今、この桑園も一畦間に夏作の青刈大豆が植付けられている、この青刈大豆を植付けない畦の真中を境として株際迄の両側に深さ五六寸の施肥溝を掘り、ここに施肥します。

今迄の配合肥料と同様に施肥するの効めが少い、固形肥料は他の肥料と違い、肥料のかたまりを細根が包根しなくては肥料の吸収力が劣るから肥料は細い根近に五六寸の深さ施肥した方がよい。

肥料を施したならば従来は土用布子と申しまして畦間の土を株もとに寄せ、畦間は低くなり、株元が土で覆われるのであります、この仕事を極端に行いますと、畦間は深く掘られ、細根が無理に切られ丁度、旱魃にあつた時と同様に生長が止り、枝先の若い葉がしおれ、ひどく成ると葉は褐色に変わり、落ちる事さへある、この事から考へて肥料を施したならば畦間の土を株元に少し寄せる程度でよい。

此の作業が終つたら畦間一面に敷き、金剛がら、麦わら、刈草類)を敷きますと、今からの雑草繁茂を抑制され、桑園の有機物増加、七、八月頃、旱魃対策に成りますから是非行つて下さい。

肥培管理が無駄にならない様に最近桑園に細菌病の発生が著しく飼育状態に成つて、葉、枝先を生に無断な状態に成り、桑不足を生ずる事が非常に多く、それで今の時期に予防するが最も効果が大きい。

細菌病は夏から秋にかけて葉に褐色の斑点を生じ、病状が進むに連れて縮れて来、落葉する事もあられる。又、秋から冬にかけて枝先が薄黒いスミをこぼした様な斑点が生じ春先にも成つて、病氣に侵され、生じ腐つて芽が出なくなり、また今春の枝先の上部の不發育は、この病氣の爲、発芽しなかつたのである。

予防法は水一斗に水銀ボルドー一匁又はウスフルン一五匁を溶かして桑全体に反当三斗位散布する。

災害は桑で守りましょう

防災用で昨年に栽植されている桑の一段目に果が粗に成り勝ちである桑は役目を果さぬ内に枯死する事が多々あり勝ちですから、この機会に桑株の隅わりの雑草を刈りそこに敷く様に努めて下さい。

夏作緑肥の緑込について

七月中旬頃には緑肥の緑込時期に成ります。

緑込時期は青刈大豆が一割程度開花した時分に引抜き、半乾きにして植付てあつた畦に消石灰を反当三斗位加用(散布)し、緑込込みがよい。

災害は忘れずに来る

反当收穫量の増加は初秋蚕から春蚕は收穫量(貫数)は多く又又又、繭価は最近に無き価格が予想され、それでは来る夏秋蚕には容以上の実績を確保したい。

九月頃は台風シーズンとも申しますから、最近は何年の様に台風が来ると、最秋蚕飼育が計画通り出来かねる場合が多く、それで災害には有る物と考え、初秋蚕飼育に努めて下さい。

初秋蚕飼育の利点は次の様である。

1、災害(台風)を避ける事が出来る。

2、反当收穫量を上げる事が出来る。

3、晩秋蚕の繭が良く成る。

4、飼育期間が短かい。

5、生産費が少くてよい。

6、夏休みで子供が加勢出来る。

以上の中から考え、初秋蚕は七割程度は飼育したい、これには、桑園の肥培管理を行う事が何よりも先決です。

養蚕技術員 藤崎昭昭